

【CL名】 木下さん 【解答者】 アオちゃん 【作成日】 2023年11月3日 【作成時間】 40分

設問

[問い1] 今ならどのような質問ができるか。

- 「子どものこともちよと気になる」と仰いましたが、お子さんのことでどのようなことが気になってますか?
- 「理由は聞けていない」と仰いましたが、ご主人に転職の理由を聞けていないのはどうしてですか?
- 「夫も不安なみたい」と仰いましたが、ご主人が不安なみたいと木下さんが感じているのはどうしてでしょうか?
- 「このころ強く言わねえと仰いましたが、ご主人はどのような感じでお話しされたのでしょうか?
- 「コールセンターから旅行代理店のお仕事に変わったときの話を伺ってもよろしいでしょうか?
- 「ご主人が「違う仕事をする事になったら」と1ヶ月前に聞いたとき、木下さんはどう思われました?

[問い2] 良かった点と悪かった点 (各2行)

事例IのCC18 (相応しい・相応しくない)

理由: 以前のしどから、コールセンターでの仕事の話や、今の仕事が楽しくて本音は仕事を続けたいという思いをお聞かせいただき、信頼関係が構築できつつあるのが良かった点である。

事例IIのCC19 (相応しい・相応しくない)

理由: 今の仕事の楽しさやお客様から感謝されたときのうれしさは伺えた一方、繰り返し焦点を当てたことで相談者に同じような内容を話させてしまい、展開が遅くなってしまう点。

[問い3] クライエントの主訴

1ヶ月前に違う仕事に変わったばかりのご主人から転職するのもしないかと聞いてびっくりしている。今の仕事は旅行が好きで相談者が働きたいと思っていた旅行業界の仕事であり、顔が見えやり取りができてやりやすい。以前、コールセンターで働いていたときは相手の顔が見えず、しどからため、今の仕事が楽しくやめたくないと思っている。ただ、ご主人には「ついてきてほしい」と強く言われ、家事などで忙しいご主人は不安なのではないかと推測しているが、ご主人とまだ話すことができていない。

[問い4] 今後の展開 (どのように進めるか)

ご主人の転職の言にびっくりし、一人で思いを抱えていらした相談者に寄り添いながら、引き継ぎ信頼関係の構築に努める。転職について行くかどうかの判断基準となる価値観を明確にするため、仕事と家庭をどのように両立させるかや「家族への思い」について内省を促す。ご主人の気持ちや転職について相談者の推測と思われる発言が見受けられた。そこで、ご主人の転職についての思いや転職の詳細を聞き、相談者の思いも伺えらるるようによりコミュニケーションの機会を提案する。これにより、相談者がワークライフバランスを考慮し、最適な意思決定ができるように支援する。